

僕は鼻の高い異邦人のようです。天狗と呼ばれているかもしれません。農村の皆さんとは違う言語を使うときもあります。A V屋ごときに何が出来る？とお思いの方も多いようです。

しかし僕も同じ日本人で、日本の農業を心配しています。だから農業界に参入して来ました。それは農業界に不足している要素(企画・演出・宣伝・営業・投資・経営など)を自分が持っている確信したからです。

なぜこんな話を今更言い出しているのかと言いますと、「農業経営者」さんをはじめとするマスコミや口コミのおかげで会ってもいないのに僕がたくさんいらつしやるからです。

ある方は、「農業界はA V業界よりもダメだよ！」と発言したことを根に持っているようです。またある方は飲食店・八百屋から飲食店卸や海外卸、そして農業生産者として一般の野菜のほかにソルトリーフやト口箱畑の生産まで手掛けていることが散漫に見えて、話題づくりを目的とした金持ちの道楽のように思われているようです。

否定する人間を否定するのは気持ち良いことでしょう。しかし僕は外野から野次を飛ばしている訳ではありません。グラウンドに降りて、一

緒にプレーをするルーキーとして、おかしなプレーはおかしいから直していくべきだと発言させていたのだのです。それに対して先輩プレーヤーとして異論があるのならば議論させていたきたい。自身のチームが連戦連勝しているならば、僕の発言は論外でしょうが、そうでないなら「生意気なことを言うオマエなんか訪ねて来ても会う気はない！」などと言う先輩は向上心のない方だと思います。

「金持ちの道楽」ともよく言われます。たしかに赤字が続いているので言い返せませんが、会社が潰れたときか、ジリ貧が5年以上続いたときにして下さい。「一つの仕事をまっとうできない奴がいくつも手を広げるな」とおっしゃりたいのではありません。農業界の川上から川下の整備を目指しているのです。全線開通して初めて一つの仕事がスタートします。例えるなら、陸上十種競技のエキスパートを目指しているのです。練習は走ったり投げたり飛んだりしているのです。遊んでいるように見えて理解されないようです。

地元・国立周辺の農家さんたちにも、まだまだ嫌われています。仕入れや契約栽培の取引先は増えているのですが、そんな取引をさせていたでいる農家さんから「最近、国

立ファームの悪い評判を聞くから気を付けなさい」とご忠告を頂きました。調べてみるとお取引のない一人の農家さんから口コミで広まったものでした。農業界恐るべしです。

しかし努力を続けていけば、その続けた年月分だけ信用が増すところが農業界の良いところだと思いますので前向きに考えます。

僕は有能な百姓になりたくて農業界の門を叩きました。国立ファームの最終目標は生産法人として、新しい生産者グループを作ることです。そのためにまず農業の雑用係になるうと国立ファームは活動しています。有能な生産者が生産以外で必要としている面倒な仕事を勝手にやってお役に立ちたいと思っています。

僕が農業にとって悪影響を与える存在だと仮定しましょう。ならば農薬を使って病気や害虫を駆除するよな気持ちで、国立ファームを利用して今農業界が抱えている問題を駆除してみたいかがでしょうか。

日本の農業を誇れる産業にしたいという気持ちをお持ちでしたら、手法は違うのですが、同じ目的のためにぜひとも薩長連合で明治維新を成功させましょう。ご賛同いただける農業経営者様がいらつしやいましたら、最後のページの「国立ファームNEWS」をご覧ください。

国立ファーム有限公司

高橋がなりの

アゲツのオサダ

~早く「虎」に変わるんだ!~

第14回

薩長連合で新しく強い国(農業)づくりをしませんか!